

# 日中省エネルギー・環境総合フォーラム

## 中日节能环保综合论坛

### 全体会議



両国閣僚講演

### 分科会



政策・制度・技術の紹介  
テーマ別交流

### 案件形成



協力プロジェクト披露

### 情報発信



技術PR資料展示・配布  
オンサイトマッチング

「日中省エネルギー・環境総合フォーラム」は、日中間の省エネルギー・環境協力のプラットフォームとして、日本側は経済産業省、一般財団法人日中経済協会が、中国側は国家発展改革委員会、商務部が主催者となり、毎年日本と中国において交互に開催し、本分野の交流を代表する活動として対中省エネ・環境ビジネス推進の一翼を担っています。

第11回フォーラムは2017年12月24日に東京において、日本側から世耕弘成経済産業大臣、宗岡正二日中経済協会会長、中国側から張勇国家発展改革委員会副主任、高燕商務部副部長の出席のもと、開催しました。日中官民関係者合わせて約860人（日本側約480人、中国側約380人）の参加を得て、日中両国が省エネ・環境分野における協力の一層の深化に向けて第三国市場でのビジネス協力を推進していく必要性を再確認し、また23件の協力プロジェクト文書を交換するなど、成功裏に終了しました。

中日节能环保综合论坛如今成为中日节能环保领域具有代表性的合作平台，日方由经济产业省及日中经济协会，中方由国家发展和改革委员会及商务部主办，每年在日本和中国轮流举办，推动两国节能环保商务合作。

第11届论坛于2017年12月24日在东京召开，日方世耕弘成经济产业大臣、日中经济协会会长宗冈正二会长，中方国家发展和改革委员会张勇副主任、商务部高燕副部长及两国各界大约860名（日方约480名、中方约380名）人士出席。双方就共同推进作为日中两国在节能环保领域深入合作重要一环的第三方市场共同开拓的必要性等方面达成了共识。会上还有23项节能环保领域的合作协议文本在双方领导人见证下得以交换。论坛取得了圆满成功。

主催

経済産業省  
一般財団法人日中経済協会

中華人民共和国国家発展改革委員会  
中華人民共和国商務部  
中華人民共和国駐日本国大使館（日本開催時）

# ■日中省エネルギー・環境総合フォーラム開催実績

|       | 第1回   | 第2回  | 第3回   |
|-------|---|--|---|
|       |    |    |            |
| 主な成果  | 両国の現状や直面する課題、日中省エネ・環境協力の意義について共通認識を醸成   | Win-Win 関係による具体的なプロジェクト創成に向けた相互努力の必要性を確認   | 具体的ビジネス形成に資する両国産業界のニーズとシーズのマッチングを促進   |
| 日程    | 2006年5月29(月)～30日(火)   | 2007年9月27(木)～28日(金)  | 2008年11月28日(金)  |
| 開催地   | 東京(ホテルオークラ)   | 北京(人民大会堂)  | 東京(グランドプリンスホテル新高輪)  |
| 参加者数  | 850名(日方500、中方350)   | 1,000名(日方500、中方500)  | 1,100名(日方800、中方300)   |
| 主要出席者 | 二階俊博経済産業大臣<br>小池百合子環境大臣<br>千速晃日中経済協会会長<br>小宮山宏東京大学総長<br>姜偉新国家発展改革委員会副主任<br>薄熙来商務部長<br>王毅中国駐日大使  | 甘利明経済産業大臣<br>張富士夫日中経済協会会長<br>南直哉 JC-BASE 副会長<br>望月晴文資源エネルギー庁長官<br>曾培炎國務院副総理<br>馬凱国家発展改革委員会主任<br>陳德銘国家発展改革委員会秘書長<br>魏建國商務部副部長<br>姜偉新建設部部長<br>王鉄宏建設部総工程師 | 二階俊博経済産業大臣<br>吉野正芳環境副大臣<br>張富士夫日中経済協会会長<br>解振華国家発展改革委員会副主任<br>蔣耀平商務部副部長<br>崔天凱中国駐日大使          |
| 協力合意  | 5件  | 10件  | 19件   |
| 分科会   | ①省エネ環境保護政策法規、標準、産品認証<br>② ESCO (省エネサービス企業)と融資担保(信用保証)メカニズム<br>③鉄鋼<br>④ガラス、セメント、新型建築材料<br>⑤再生可能エネルギー、電力、ガス、石炭<br>⑥自動車<br>⑦日中長期貿易(電力、ごみ焼却、石油) | ①電力<br>②自動車<br>③電気・変圧器<br>④鉄鋼<br>⑤環境<br>⑥省エネ政策<br>⑦民生(建築)省エネ<br>⑧日中長期貿易(鉄道、湖沼浄化、発電、環境税制、CDM)   | ①化学<br>②自動車<br>③海水淡水化・水処理、回収<br>④省エネ技術(節電・節油)・省エネ診断<br>⑤発電<br>⑥循環経済<br>⑦日中長期貿易(下水汚泥処理、湖底汚泥処理) |
| 地方視察  | 東京、北海道、中部、関西、北九州など6コースを訪問   | 重慶訪問団(団長:南直哉 JC-BASE 副会長)33名を派遣  | 12コースに分かれて各地を訪問   |

|       | 第7回   | 第8回   | 第9回   |
|-------|---|---|---|
|       |                        |                 |                              |
| 主な成果  | 省エネ・環境協力で日中相互信頼関係の深化に貢献。協力主体・地域の多様化、内容の具体化  | 2年振りの交流再開。日中省エネ・環境分野における協力の必要性を再確認  | COP 21に向け日中がクリーン発展で協力強化することを共通認識に   |
| 日程    | 2012年8月6日(月)  | 2014年12月28日(日)  | 2015年11月29日(日)  |
| 開催地   | 東京(椿山荘)   | 北京(遼寧大廈)  | 東京(ザ・プリンス パークタワー東京)   |
| 参加者数  | 1,000名(日方600、中方400)   | 500名(日方250名、中方250名)   | 750名(日方約470名、中方約270名)   |
| 主要出席者 | 枝野幸男経済産業大臣<br>細野豪志環境大臣<br>張富士夫日中経済協会会長<br>高原一郎資源エネルギー庁長官<br>張平国家発展改革委員会主任<br>高虎城商務部国際貿易交渉代表<br>程永華中国駐日大使  | 高木陽介経済産業副大臣<br>渡文明日中経済協会副会長<br>上田隆之資源エネルギー庁長官<br>解振華国家発展改革委員会副主任<br>高燕商務部副部長                        | 林幹雄経済産業大臣<br>丸川珠代環境大臣<br>高木陽介経済産業副大臣<br>宗岡正二日中経済協会会長<br>日下部聡資源エネルギー庁長官<br>張勇国家発展改革委員会副主任<br>高燕商務部副部長<br>程永華中国駐日大使 |
| 協力合意  | 47件   | 41件   | 26件   |
| 分科会   | ①循環経済<br>②水・汚泥処理<br>③エネルギー管理システム<br>④グリーン建築・LED<br>⑤自動車<br>⑥水・火力発電<br>⑦分散型エネルギー<br>⑧日中長期貿易(自動車リサイクル、汚泥処理) | ①エネルギー管理システム・LED<br>②石炭火力発電(クリーンコールテクノロジー)<br>③大気汚染対策<br>④循環経済<br>⑤次世代自動車<br>⑥日中長期貿易(自動車リサイクル、汚泥処理) | ①エネルギー多消費企業の省エネ対策<br>②スマートシティ<br>③次世代自動車<br>④循環経済<br>⑤石炭火力発電<br>⑥日中長期貿易(自動車リサイクル、汚泥処理)                            |
| 地方視察  | 分科会テーマをベースに、9コースに分かれて各地を訪問  | 日中長期貿易(LT)分科会のみ、江蘇省を訪問してリサイクルを中心とする企業を視察  | 6分科会、7コースで各地視察。張勇副主任も独自視察実施   |

第4回



日中省エネ・環境分野の互惠協力と地方へのビジネス展開

2009年11月8日(日)

北京(人民大会堂)

1,000名(日方500、中方500)

直嶋正行経済産業大臣  
三村明夫日中経済協会副会長  
南直哉 JC-BASE 副会長  
石田徹資源エネルギー庁長官  
内藤正久日本エネルギー経済研究所理事長

李克強国务院副総理  
解振華国家発展改革委員会副主任  
陳健商務部副部長  
張少春財政部副部長  
李幹傑環境保護部副部長

42件

- ①トップランナー制度
- ②循環経済
- ③海水淡水化・水処理
- ④自動車
- ⑤発電/石炭
- ⑥化学
- ⑦日中長期貿易(汚泥処理)

重慶、唐山と各分科会をベースに、7コースに分かれて9都市を訪問

第5回



日中省エネ・環境協力プロジェクトの量的拡大から質的向上へ

2010年10月24日(日)

東京(グランドプリンスホテル赤坂)

1,100名(日方700、中方400)

大島章宏経済産業大臣  
池田元久経済産業副大臣  
近藤昭一環境副大臣  
張富士夫日中経済協会会長  
細野哲弘資源エネルギー庁長官

張曉強国家発展改革委員会副主任  
蔣耀平商務部副部長  
程永華中国駐日大使

45件

- ①LED照明/省エネビル
- ②循環経済
- ③水処理・汚泥処理、ごみ焼却発電
- ④自動車
- ⑤低炭素(CCS-EOR)
- ⑥石炭・火力発電
- ⑦中小企業の省エネ・ESCO
- ⑧日中長期貿易(汚泥処理、環境金融)

14都道府県、22都市を9コースに分かれて訪問

第6回



省エネ・環境分野における互惠協力

2011年11月26日(土)

北京(人民大会堂、国家会議中心)

1,000名(日方500、中方500)

枝野幸男経済産業大臣  
岡本巖日中経済協会理事長  
高原一郎資源エネルギー庁長官  
佐々木伸彦経済産業省通商政策局長  
丹羽宇一郎駐中国日本国大使

李克強国务院副総理  
張平国家発展改革委員会主任  
尤権国务院副秘書長  
謝旭人財政部部長  
李金早商務部副部長  
張力軍環境保護部副部長

51件

- ①トップランナー制度
- ②グリーン建築物
- ③水処理・汚泥処理
- ④循環経済
- ⑤新エネルギー自動車
- ⑥石炭・火力発電
- ⑦日中長期貿易(排水処理、汚泥処理、自動車リサイクル)

分科会テーマをベースに、6コースに分かれて9省・直轄市を訪問

第10回



本フォーラムの継続開催、企業・研究機関の更なる協力推進、グリーン発展人材育成強化などについて覚書署名

2016年11月26日(土)

北京(国家会議中心)

800名(日方約300名、中方約500名)

世耕弘成経済産業大臣  
宗岡正二日中経済協会会長

徐紹史国家発展改革委員会主任  
張勇国家発展改革委員会副主任  
高燕商務部副部長

29件

- ①都市緑色管理(スマートシティ)
- ②省エネサービス産業
- ③循環経済
- ④新エネルギー車・自動車知能化
- ⑤クリーンコール技術・石炭火力発電
- ⑥日中長期貿易(節水、海水淡水化、汚水・汚泥処理)

クリーンコール技術・石炭火力発電と日中長期貿易の2分科会で視察実施

第11回



「第三国市場協力分科会」を新設し、省エネ・環境分野における第三国での日中ビジネス協力を深化

2017年12月24日(日)

東京(ホテル椿山荘東京)

約860名(日方約480名、中国側約380名)

世耕弘成経済産業大臣  
中川雅治環境大臣  
宗岡正二日中経済協会会長

張勇国家発展改革委員会副主任  
高燕商務部副部長  
劉少賓中国駐日本国大使館臨時代理大使

23件

- ①省エネ環境分野における日中の第三国市場協力
- ②省エネルギー
- ③クリーンコール技術と石炭火力発電
- ④資源循環利用・ごみ分別処理
- ⑤自動車の知能化・電動化
- ⑥日中長期貿易

6分科会、7コースで各地視察。本フォーラムの前日に日中企業マッチング交流会を初めて開催



分科会地方視察  
(自動車分科会中国側代表・沖縄東浜水素ステーション見学)



日本側企業団体8、中国側4のパネル展示

その他  
「日中企業代表による省エネ環境先進技術」として、小久保憲一 株式会社日立製作所執行役常務・中国総代表が「日立製作所の中国における取組と日本が進める Society5.0 及びそれに関わる日中協力への期待」を紹介。

## 全体会議

### ◆ 世耕弘成 経済産業大臣



日中省エネルギー・環境総合フォーラムは、省エネ・環境分野における日中協力の重要なプラットフォームとして定着し、当該分野における日中協力の一層の深化に向けた強力な契機となることを期待したい。本日の23件の協力案件も、高効率な電気集塵機や下水処理技術の中国各地への普及、エネルギー・マネジメント・システムの導入による効率化向上など、昨年の第10回フォーラムにおいて徐紹史主任(当時)との間で署名をした、協力の領域(スコープ)と、協力の地域(エリア)を拡大した覚書協力の領域を広げる取組みである。

日中両国が、アジアひいては世界の経済を牽引するLeading Countryとして第三国での省エネ・環境分野における協力を推進するため、今フォーラムでは「第三国市場協力分科会」を新設した。日中両国が互恵の関係を築き、第三国からも高く評価されるプロジェクトを実現することを期待したい。そのためにも、市場アクセスの改善や自由で公正な21世紀型のルールの構築などを通じて、グローバルなビジネス環境の改善を日中両国の協力によって実現したい。

中日节能环保综合论坛如今已成为中日节能环保领域具有代表性的重要合作平台、期待此平台为两国在节能环保领域进一步深化合作提供契机。本日签约的23件合作项目包括高效率电气集尘机和下水处理技术在中国各地的普及、能源管理系统的引进带来的增产增效等,是对去年第十届论坛时与徐绍史主任(时任)签约合作领域和地区的进一步扩大。

中日两国作为推动亚洲乃至世界经济的领跑者,为促进在第三方国家节能环保领域的合作,本次论坛新设了第三方市场合作分论坛。期待双方建立双赢互惠的合作关系,共同为第三方市场提供好的合作项目。为此,期待在中日双方共同努力下,市场准入规则的改善,自由公正的21世纪规则的建立以及全球化商务环境的改善得以早日实现。

### ◆ 張勇 国家発展改革委員会副主任



中国共産党第19回全国代表大会では、グリーン発展の推進や各種汚染対策、生態系保護や規制強化目標などが発表された。日本含め世界各国とともに、世界の環境対策に積極的に参画し、気候変動に共に対処し、グリーンな「一帯一路」建設を進めていきたい。日中の省エネ・環境分野の協力強化のため、(1)本フォーラムの最大限活用などによる協力ベースを引続き強固にし、(2)協力分野の拡大、(3)人材養成による協力実効性の確保、(4)マルチメカニズムの効果発揮(大連循環産業経済区、河北曹妃甸工業区等の循環経済モデル基地の建設、国連の2030年持続可能な開発アジェンダ、パリ協定、G20エネルギー効率リーディングプログラム実施、第三国市場協力の模索など)の4点を提案する。

在中国共产党第19次全国代表大会上,发表了有关绿色发展促进、各种污染对策、生态体系保护与规制强化等目标。愿与包括日本在内的世界各国积极参与世界环境问题对策的制定,共同应对气候变化,推行绿色环保的一带一路建设。为强化中日节能环保领域的合作,提出以下四点意见:(1)继续大力加强活化包括本论坛在内的合作机制、(2)扩大合作领域、(3)通过培育人才确保合作的实效性、(4)发挥复合机制效果(推进大连循环产业经济区、河北曹妃甸工业区等循环经济示范基地的建设、联合国2030年可持续发展目标、巴黎协定、G20能效引领计划的实施、第三方市场合作的摸索等)。

### ◆ 中川雅治 環境大臣



2018年は日中平和友好条約締結40周年。日中韓3カ国環境大臣会合も、記念すべき20回目の会合を中国で開催を予定している。これらを契機に、日中の環境協力をさらに深化させ、責任ある地球社会の一員として、世界規模での持続可能な社会構築に乗り出す。その鍵は、技術開発とイノベーション。わが国はエコカーや太陽光発電の拡大、未来の水素社会に向けた動き、ESG投資など環境融資の充実・強化、低炭素型ライフスタイルや製品等の選択を促進する国民運動を進めている。中国では今般、全国レベルで排出量取引制度を制定し、我が国も関心を持って注視している。世界的には国家に加えて、自治体や企業が主役となっていく世界の脱炭素化に向けた大きなうねりがあり、日中両国は、いまこそ手を取り合って、国際社会が求める透明性等のルール作りを主導すべきである。この分野での日中連携についても今後強化したい。

2018年是中日和平友好条约缔结40周年,同时具有里程碑意义的第二十次中日韩环境部长会议也将在中国举行。期待以此为契机继续深化中日环保领域的合作,作为地球村的一员,积极为全球范围的可持续发展社会的构筑做出贡献。其关键点在于技术的开发与创新。我国积极促进开展节能汽车、太阳能发电的推广、面向未来氢能源社会的实践、ESG投资等环境融资的充实和强化、低碳生活方式与制品的普及运动等,对于中国目前全国范围的排放量交易制度的制定也非常关注。如今,在国家层面之外,地方政府和企业作为主力积极推动世界脱碳化运动也正在成为一种强有力的主流。中日两国为此更应联手协作,共同主导国际社会所倡导的公平透明规则,在节能环保领域继续强化合作。

### ◆ 高燕 商務部副部長



今フォーラムで新設された第三国市場協力分科会は一帯一路政策の枠組みの下、中日企業が第三国でのグリーン低炭素の建設・運営管理、省エネ・環境産業における協力促進で経験を共有するよいスタートとなった。中国と日本は世界の第二、第三の経済体であり、補完性の高い省エネ・環境協力を深化させ、中日の実務協力のレベル向上を期待する。

中国は、グリーン流通や省エネ・環境産業の発展を支援し、日本含む世界各国と以下実務の交流と協力を推進している。①電子商取引によるグリーン発展の推進、②グリーン消費・グリーン生産促進、③グリーン流通による省エネ・環境保護の支援、④グリーン開放による産業のグレードアップ促進、「外商投資産業指導目録」を更新し、外資による省エネ・環境産業への投資奨励、省エネ・環境技術の積極的な導入など。

本次论坛在一带一路框架内新设了第三方市场合作分论坛,成为中日企业在第三国绿色低碳建设·运营管理、节能环保产业领域加强合作和经验共享的良好起点。中日作为世界第二、第三大经济体,在节能环保领域互补性强,期待双方深化节能环保合作,提升务实合作水平。

中方支持绿色流通和节能环保产业发展,正在同包括日本在内的世界各国一道,共同推进以下务实交流合作。①依托电子商务推动绿色发展、②促进绿色消费引导绿色生产、③依托绿色流通支援节能环保、④根据绿色开放促进产业升级,更新「外商投资产业指导目录」,对外资在节能环保领域的投资进行奖励,积极引进节能环保技术。

## ◆ 宗岡正二 日中経済協会会長



2017年11月の第43回「合同訪中代表団」における李克強総理との会見時、李克強総理から、省エネ・環境保全については立ち遅れた生産能力を淘汰し、過剰な生産能力を解消するにあたり、汚染を生じ資源を浪費するような生産能力は「市場と法的な手段」によって淘汰し続けていく、という強い意思表示があった。

省エネ・環境分野における日中企業によるビジネス・プロジェクトの醸成には、①知的財産権保護やサイバーセキュリティ法の適切な運用、②企業活動における市場原理と経済合理性に則ったビジネス環境の改善・整備が前提となる。このようなビジネス環境の改善・整備、プロジェクトの恒常的なフォローアップは、日本側は日中経済協会が窓口となって、各種の専門機関・団体等と共に、中国側の国家発展改革委員会国際合作中心や専門機関などと密に連携しつつ推進していく。

今後もより多くの日中省エネ・環境ビジネス協力の卵が生み出され、順調に孵化し、本フォーラムで紹介されるような成功事例へと巣立ち、大きく羽ばたくことを願う。

在2017年11月の第四十三届联合访华团国家领导人会见之际，李克强总理强调，应积极淘汰落后、过剩的生产力，凭借市场与法律手段继续废除导致污染浪费资源的生产力。

主要借助以下措施促进中日节能环保领域的合作项目的形成①保护知识产权、贯彻网络安全法、②顺应市场经济原理与经济合理性而改善和完备商务环境是企业进行经营活动的大前提。为此，日中经济协会和国家发改委国际合作中心分别作为日中两国的负责单位与各专门机关团体一道，密切协作，共同推进商务环境改善和合作项目日常化。期待中日在节能环保领域的合作结出更多硕果，涌现出更多本论坛介绍的成功例。

## ◆ 劉少賓 中国駐日本国大使館臨時代理大使



省エネ・環境分野における互惠協力は中日関係が前進する原動力である。両国政府と企業が交流・意思疎通を強化し、信頼関係を増進し、技術の成果と経験を共有し、協力プロジェクトの実質的な進展を推進し、中日協力が新たな水準に達し、両国関係の改善発展をサポートするよう期待する。

中日双方の企業が新たな戦略的思考で、一帯一路省エネ・環境実務協力の新プラットフォームを構築し、第三国市場を開拓し、中日両国の一帯一路の枠組みでの協力が早期に実現され、中日関係改善と両国の互惠協力の新たな注目を形成するとともに、人類運命共同体構築に向け、積極的に努力する。

中日在节能环保领域的互惠合作是推动中日关系前进的原动力之一。两国政府及企业通过强化交流沟通，增进信赖关系，促进技术成果与经验共享，推进合作项目的实质性进展，使中日合作跃上新台阶，进而促进改善两国关系朝着更加良好方向发展。

中日双方企业以全新的战略性思考，共同构建一帯一路节能环保务实合作的新平台，共同开拓第三方市场，在促进中日一帯一路框架下两国合作早日实现的同时，为中日两国关系改善与互惠合作过程中新增长点的形成、人类命运共同体的构建而积极努力。

## ■ 日中企業代表による省エネ環境先進技術の発表

### ◆ 朱共山 協鑫集团董事长

協鑫集团は、新エネルギーの世界500強企業ランキングではトップ3、中国ではトップに位置するグリーンエネルギーの運営サービス企業である。

日本企業との省エネ・環境分野での実務協力について、日中企業への技術普及とプロジェクト建設、両国政府支援、合作強化、日中企業の各優位性を活かした実質的な合作を実現し、第三国市場開拓をグリーンな一帯一路建設を共同で推進することなどを提案。

協鑫集团董事长 朱共山

協鑫集团位居新能源领域世界500强企业第3位，是中国绿色能源业界的领军企业。

积极开展与日本企业在节能环保领域的务实合作，具体包括对两国企业的技术普及与项目建设、两国政府支援、合作强化、活化中日企业各自优势以实现实质性的合作，在绿色环保的一帯一路框架下共同推进第三方市场开拓。

### ◆ 小久保 憲一 株式会社日立製作所執行役常務・中国総代表

日立製作所の中国における取組みと日本が進めるSociety 5.0の紹介及びそれに関わる日中協力への期待—

持続的経済成長や健康長寿社会の形成、社会変革に繋げる日本の「超スマート社会・Society 5.0」と中国の方針は、その質とゴールを同じにするものである。

ビッグデータを活用した協力案件の拡大や、日中の強みを生かしたウィンウィンの社会課題の解決にむけた取り組みは第三国においても今後適応が可能である。

株式会社日立製作所

執行役常務・中国総代表 小久保 憲一

日立製作所在华事业发展情况、关于日本推行的Society 5.0の紹介以及对日中相关领域合作的期待—  
日本提出的「超智能社会・Society 5.0」，致力于促进持续的经济成长与健康长寿社会的形成以及社会变革，与中方的方针在本质与目标上是一致的。

应用大数据的合作案件不断增加，面向社会课题的解决而积极发挥日中各自强项的双赢合作体制今后在第三方市场开拓方面也大有发展空间。

### ◆ 王安 中国国際工程諮詢公司 總經理

1982年設立の中国最大の総合建設コンサルタントであり、中国の経済社会・国防建設分野のほぼすべての重要事業・計画・政策の評価業務に関与している。政府と企業の架け橋として、日本企業と連携することを期待し、

1. 中日双方のコンサル企業提携の深化
2. 省エネ・環境コンサルにより第三国市場を共同開拓
3. 友好都市活用による省エネ・環境産業の発展を提案。

中国国际工程咨询公司总经理 王安

1982年设立的中国最大的综合建设咨询公司，几乎参与了中国的经济社会・国防建设领域几乎所有的重要事业・计划・政策的评价业务。作为政府与企业的桥梁期待与日本企业在下述方面进一步合作。

1. 深化中日双方咨询企业合作
2. 共同开拓节能环保咨询领域的第三方市场
3. 活用友好都市的交流纽带推进节能环保产业发展

上記講演者の講演内容は下記日中経済協会ウェブサイトにてご確認頂けます。

☞ <http://www.jc-web.or.jp/> 「第11回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」

# 分科会

## ◆ 省エネ環境分野における日中の第三国市場協力分科会

日中両国は、ルールに基づく自由で開かれたwin-winの関係を築いていくために、民間企業間のビジネス協力を促進し、第三国でのビジネスを展開していくことが両国及び第三国の発展にとって有益であることで一致した。また、第10回フォーラムの際、日中両方が省エネ・環境分野における第三国市場での協力について言及があった等の背景も踏まえ、本分科会は第11回フォーラムで新設された。

本分科会には、金融、商社、メーカーなどの民間企業や政府系機関が参加し、再生可能エネルギーや高効率火力の共同開発・運営や産業高度化分野などにおけるこれまでの第三国における日中協力案件を紹介の上、更なる協力に向け、日中両国の政府・民間企業間で数多くの具体的かつ前向きな議論がなされた。

※本分科会は「日中第三国市場協力フォーラム」へと発展的に解消する。

日中両国が構築する自由貿易規則の双贏合作関係、促進企業間商务合作、一致認為在第三国市場共同开展日中商务活动对于两国及第三国的发展均有着重要意义。

基于在第10届论坛上日中双方都提出了在第三国市场的节能环保领域开展合作的构想，本次第11届论坛新增设了本分论坛。金融、商社、制造企业等民间企业及政府机关踊跃参加，就可再生资源、高效率火电的共同开发、运营和产业高度化等领域双方分别介绍了在第三国市场合作的案例，并且就进一步深化合作，日中两国政府和民间企业间就多项议题展开了具体且积极的讨论。

※本分论坛今后将过渡为独立的「日中第三国市场合作论坛」。

## ◆ 省エネルギー分科会 节能管理分论坛

日中両国ともに、これまでの省エネ取り組みによって積み重ねられた高い基準をベースとして、さらに省エネを普及・促進しなければならないが、従来の政策、制度や技術、金融、ビジネスモデルを維持するだけでは、省エネに対する効果認識不足、ノウハウ不足、資金・人材難等のバリアを越えることはできず、各セクターにおいてイノベーションが必須の時代を迎えているという認識を共有した。そのうえで、政府をはじめサードパーティ、金融機関等の社会各組織がそれぞれの役割を果たすことを通じ、巨大な中国市場で日本の優れた省エネ技術・管理を活かすことができれば、日中間での具体的なビジネスを含めた省エネ協力関係のより一層の強化につながるという可能性を確認した。

日中両国以在推动节能事业过程中所积累的高水准为基础，以节能事业的普及促进为首要课题，若仅维持原有的政策、制度、技术、金融、商务模式，将很难超越对节能的效果认识不足、经验不足、资金・人才难等障碍。双方一致认为，各领域的创新正在肩膊，以及以政府为首的第三方如金融机构等社会组织各自发挥作用，共同促进日本企业先进的节能技术和管理经验在广大的中市场的活用，即可促进包括具体商务活动的节能合作关系的进一步强化。

## ◆ クリーンコール技術と石炭火力発電分科会 洁净煤技术与煤炭火力发电分论坛

日中両国は、エネルギー安全保障や経済効率性の面で優れた石炭火力発電を利用する一方で、二酸化炭素やその他煤塵、NOx、SOx等大気汚染物質の排出削減に向けて、長年協力を進めてきた。特に近年では、気候変動や環境対策の観点から、クリーンな石炭火力発電の実現という共通の目標を共有し、石炭火力発電の高効率化や高性能な環境技術分野でのビジネススペースでの協力を活発化させている。

クリーンコール技術・石炭火力発電分科会では、CO<sub>2</sub>の削減のための高効率化や大気汚染物質削減のための環境技術の活用に向けての意見交換に加えて、IoTを活用した効率的な石炭火力発電の運用や再生エネルギーの導入に際しての石炭火力発電の柔軟な負荷調整力としての活用など、単にハード面の事柄のみでなく、ソフト面についての意見交換も積極的に行なった。

日中両国在利用能源安全性和经济效益性较高的火力发电的同时，常年致力于二氧化碳、煤尘、氮化物和硫化物的减排。特别是近年来，随着气候变化与环保意识的提高，实现清洁煤火力发电作为双方的共同目标，促进煤炭火力发电的高效化与高性能的环境技术领域的高层面上的合作。

在清洁煤技术与煤炭火力发电分论坛，双方就煤炭高效燃烧与CO<sub>2</sub>的减排等大气污染治理等环境技术的活用交换了意见，同时不仅在硬件上，在利用IoT提高发电效率和可再生资源的引进等软件方面也进行了积极探讨。

## ◆ 資源循環利用・ごみ処理分科会 资源循环利用与垃圾处理分论坛

循環型社会形成への課題解決のため、日中両国が資源循環利用とそれを支える、ごみ分別やリサイクル、廃棄物の処理技術・経験・システム等の交流を深化させ、日中ビジネス協力につなげることを目的として開催。

都市化の発展を妨げるごみ処理問題の解決、資源循環の推進に向けた取り組み、急増する自動車の再資源化、廃プラスチック・廃タイヤのリサイクル等に関し、日中双方から政策・制度の深化と関連技術の紹介を行った。また、これらと関連する現場視察を組み合わせ、アレンジし、相互理解が深まることによりビジネスチャンスが創出されることを目指した。

为解决在循环型社会形成过程中的各种课题，促进日中两国在资源循环利用及其基础阶段的垃圾分类、回收、废弃物处理技术、经验、整体框架等方面的交流合作设立了本分论坛。

中日双方在妨碍都市化进程的垃圾处理问题、推动资源循环的举措、激增的废弃汽车资源化以及废弃塑料轮胎的回收利用等方面，进行了深化政策制度实施的相关技术分享。此外，结合对相关企业的实地考察，更进一步增进了双方的相互理解并为今后的商务合作创造了条件。

## 日在节能环保领域的第三方市场合作分论坛

### 省エネ環境分野における日中の第三国市場協力分科会 アジェンダ

|  |  |
|--|--|
| 2017年12月24日(日)13:30～17:00 於：ホテル椿山荘東京<br>議長：日本側：経済産業省 資源経済協力局 総務課長 藤本武士<br>中国側：国家発展改革委員会 環境資源部 総務課長 孫本武 | タワ-9F アザレア   |
| <b>内容</b>  |  |
| 開会のご挨拶<br>日本側：経済産業省 資源経済協力局 総務課長 藤本武士<br>中国側：国家発展改革委員会 環境資源部 総務課長 孫本武                                  | 「トルコ・パキスタン等第三国における日中双方による廃棄物<br>協力プロジェクト等の経験紹介」<br>中国国際工程集团有限公司 副総工程師 姚日 |
| 「長所を互いに補完し Win-Win連携で 共に世界生感文明の<br>新たな時代をリードしよう」<br>国家館副館長 主任 徐強                                       | 「第三国における日中協力について」～火力水力発電プロジェクト<br>を念頭に～<br>東芝エネルギーシステムズ株式会社 代表取締役社長 岡谷浩治 |
| 「省エネルギー環境分野における日中の第三国市場協力(金融)」<br>みずほ銀行執行役員 岡田 尚   | 中日両国は「認識協力を強化し、国際市場を共同で開拓」<br>中国質量保証中心 経営発展部 部長 侯少山                      |
| 「新たなビジネスを掴み、ともに新たな発展を」<br>中国国際環境保衛集団公司 副総経理 李傑   | 「中国企業との第三国市場協力について」<br>三井物産株式会社 顧問 木下雅之                                  |
| 「Win-Winを自指す中国企業との第三国市場における取組み」<br>丸紅株式会社 顧問 矢島浩一  | 「中日双方で第三国市場を共同開発」<br>発展改革委員会 国際合作中心 二部 責任者 牟雄兵                           |
| 「光大国際ベトナムにおける省エネ環境保護投資の実績」<br>光大国際有限公司 ベトナム代表 常駐代表 光大環境保衛<br>(エネルギー)有限公司 総経理 邵啓超                       | 質疑応答<br>(国家発展改革委員会 資源研究所 研究員 蔭彦徳 ショートコ<br>メントを含む)                        |
| 「中国および第三国におけるODC設備及び状況の報告」<br>中国国際環境保衛集団工程技術有限公司 (新) 劉欽任 エンジ<br>ニア/中国(中弁合弁会社) 総経理 高英彦                  | 総括発言<br>日本側：経済産業省 資源経済協力局 総務課長 藤本武士<br>中国側：国家発展改革委員会 環境資源部 総務課長 孫本武      |
| 「中国鋼鉄業の省エネ・環境保護発展の情勢とチャンス」<br>中国冶金工業規劃研究院 院長 李新劇   | 自由交流・名刺交換  |
| 質疑応答 休憩  |  |

### 省エネルギー分科会 アジェンダ

|  |  |
|--|--|
| 2017年12月24日(日)13:30～17:00 於：ホテル椿山荘東京 タワ-10F フリージア<br>議長：日本側：資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課長 吉田健一<br>中国側：国家発展改革委員会 環境資源部 省エネルギー処 趙俊勇 | タワ-10F フリージア   |
| <b>内容</b>  |  |
| 開会のご挨拶<br>日本側：資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課長 吉田健一<br>中国側：国家発展改革委員会 環境資源部 省エネルギー処 趙俊勇   | 高効率パワダボイラ-省エネ・環境保護一体化システム<br>～石炭クリーン高効率利用の熱供給分野における応用<br>福建永恒エネルギー管理有限公司 董事長 張晋      |
| サードパーティを活用した省エネルギーの推進<br>省エネルギー庁 省エネルギー課長 趙俊勇<br>省エネルギー課 課長補佐 吉川 尚   | 質疑応答   |
| 政府の役割を果たし、省エネ技術革新を推進する<br>国家発展改革委員会 エネルギー研究部 執行主任/研究員 白泉   | SMPLの環境ビジネスの概要及び実績<br>三井住友ファイナンス株式会社 執行役員 中国<br>本部長 倉岡明造                             |
| 質疑応答   | 低炭素、省エネの融資サービス<br>中国銀行業監督管理委員会 政策研究局 局長 李曉文  |
| 中国におけるエアコンの環境・エネルギー対策について<br>タイキ工業株式会社 O'SH 地球環境センター 室長 藤本<br>信樹   | 質疑応答   |
| 第三国市場の省エネ技術革新普及における立場と役割<br>中国国際工程諮詢公司 資源環境業務部 主任 朱黎明  | 総括発言<br>中国側：国家発展改革委員会 環境資源部 省エネルギー処 趙俊勇<br>日本側：資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課長 吉田健一 |
| 質疑応答   | 質疑応答   |
| 日建設Gの省エネ・環境への取り組みと海外展開<br>株式会社日建設設計総合研究所 研究員 范理福   |  |

### クリーンコール技術と石炭火力発電分科会 アジェンダ

|  |  |
|--|--|
| 2017年12月24日(日)13:30～17:00 於：ホテル椿山荘東京 タワ-7F 10号<br>議長：日本側：経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房総務課企画官 (石炭政策担当) 塚田裕之<br>中国側：国家能源局 電力司 火電処 処長 康国珍 | タワ-7F 10号  |
| <b>内容</b>  |  |
| 開会のご挨拶<br>日本側：経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房総務課企画官<br>(石炭政策担当) 塚田裕之<br>中国側：国家能源局 電力司 火電処 処長 康国珍   | タービン発電機の高効率化最新技術動向について<br>三菱電機株式会社 電力システム製作所 回転機製造部 開発<br>課長 田中賢治                  |
| クリーンコールテクノロジーの技術開発と海外普及展開の取組<br>国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構<br>(NEDO) 環境部 統括主幹 青木 登  | 石炭燃焼とバイオマス結合発電-火力発電燃料の柔軟性の中国<br>における実践<br>浙江能源集团有限公司 計画発展部 主管 蔣庭軍                  |
| 中国電力のクリーン発展<br>中国電力企業聯合会 電力評価部 部長 黃成剛  | クリーンコール技術に関する中国とのビジネスベースの協力<br>一般財団法人石炭エネルギーセンター 理事長 塚本 隆                          |
| IoTによる石炭火力発電の負荷調整能力向上<br>三菱日立パワーシステムズ株式会社 サービス本部 技監・副<br>技師長 三澤一之  | 環境技術活用情報紹介<br>国家電力投資集団公司 火力発電、電力販売部 副総経理<br>章義亮                                    |
| TPRI研究所 環境保護技術と製品<br>西安熱工研究院 院長 陳勇   | 質疑応答   |
| 質疑応答   | 総括発言<br>中国側：国家能源局 電力司 火電処 処長 康国珍<br>日本側：経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房総務課企画官<br>(石炭政策担当) 塚田裕之 |
| 休憩/名刺交換等交流   |  |

### 資源循環利用・ごみ処理分科会 アジェンダ

|   |  |
|---|--|
| 2017年12月24日(日)14:00～17:30 於：ホテル椿山荘東京<br>議長：日本側：経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課長 高角健志<br>中国側：国家発展改革委員会 環境資源部 資源循環経済局 呂峰 | タワ-11F マーガレット  |
| <b>内容</b>   |  |
| 開会のご挨拶<br>日本側：経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課長 高角健志<br>中国側：国家発展改革委員会 環境資源部 資源循環経済局 呂峰                                  | 「昭和工機株式会社川崎事業所製造部次長特命プロジェクトマネー<br>ジャー 泉山常吉   |
| 1. 政策セッション 日中のリサイクル・廃棄物処理(産<br>業)政策   | 「中国のプラスチック高付加価値化再利用のビジネス実践——瀋陽の<br>「ホルトコントロール」モデルの実績」<br>北京創利再生資源股份有限公司 常務副総経理 劉学勇 |
| 「日本国政府のリサイクル政策の現状と今後の展開」<br>経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課長 高角健志  | 「日本におけるタイヤリサイクルへの取り組み」<br>一般社団法人日本自動車タイヤ協会 専務理事 倉田健児                               |
| 「資源循環利用促進及びごみ分別に関する政策」<br>国家発展改革委員会 環境資源部 資源循環経済局 呂峰  | 「新時代のごみ分類・回収運送システムの構築——京滬の回収運送<br>モデルの紹介」<br>北京創利再生資源股份有限公司 常務副総経理 劉学勇             |
| 「日本の自動車リサイクル制度の現状」<br>経済産業省自動車リサイクル課長 保坂明   | 「高効率リサイクルシステム——廃タイヤ、プラスチックなど産業廃<br>棄物の破砕選別」<br>株式会社エムティエー代表取締役 森 弘志                |
| 質疑応答 休憩(ネットワーキング)   | 「駆動用/バッテリーリサイクルの紹介」<br>広東邦普循環科技有限公司 技術總監 康紅輝                                       |
| 2. 事業セッション 日中のリサイクル・廃棄物処理技術   | 質疑応答   |
| 「川崎市における資源循環の取組」<br>川崎市経済労働局 国際経済推進室 担当課長 深堀孝博  | 総括発言<br>国家発展改革委員会 環境資源部 資源循環経済局 呂峰<br>経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課長 高角健志                 |
| 「ごみの分別とリサイクルの進を語る」<br>啓迪興隆資源股份有限公司 董事長 文一波  |  |

## ◆ 自動車の知能化・電動化分科会 汽车智能和电动化分论坛

自動車産業の変貌は凄まじい。今年の自動車分科会ではこの変化を捉え、知能化、電動化をテーマに、日中双方の交流を行った。参加者の人数は過去最多で、特にICT企業の参加者が増加。CASE(つながる、自動化、利活用、電動化)の潮流に則した先進的な双方の取組や技術の紹介が行われ、両国の自動車分野における新技術に関する活発な意見交換が実施された。分科会終了後、知能化のテーマにふさわしい自動走行実証事業の視察と体験、FCVの現状の理解を深める水素ステーション視察を実施。

汽车产业的发展日新月异，今年的汽车分论坛积极捕捉业界新变化，以智能化和电动化为主题展开交流。参加人数达到历史最多，尤其是ICT企业显著增加。双方就CASE(互联、主动、共享、电动)等前沿理念分别介绍了各自的举措和先进技术，并就两国汽车领域的最新技术进行了积极的意见交换。分论坛会议后，还对自动驾驶等智能化实证事业进行了实地视察体验，并通过对加氢站的视察加深了对FCV现状的理解。

### 自動車の知能化・電動化分科会

2017年12月24日(日) 14:00～17:25 於: ホテル椿山荘東京 タワー8F コスモス  
議長: 日本側: 経済産業省製造産業局自動車課企画官(自動車商政策担当) 西野聡  
中国側: 国家発展改革委員会産業協調司機械裝備処長 呉衛

| 内 容   |  |
|---|--|
| 開会のご挨拶<br>日本側: 経済産業省製造産業局<br>中国側: 国家発展改革委員会産業協調司                  | 「中国新エネルギー自動車の発展報告」<br>中国汽車工業協会副社長 許勤華  |
| 「新エネルギー車を巡る今後の取組や課題」<br>経済産業省製造産業局自動車課企画官(自動車商政策担当) 西野聡           | 休憩   |
| 「中国自動車産業の電動化・スマート化発展の加速」<br>国家発展改革委員会産業協調司機械裝備処長 呉衛               | 「日本の自動走行技術推進政策」<br>経済産業省製造産業局自動車課企画官(自動車商政策担当) 西野聡                           |
| 「CHADEMO協議会活動紹介」<br>CHADEMO協会事務局長 吉田誠                             | 「シェアリング時代の出行と自動車の新定義」<br>滴滴(ディディ)出行副総裁 王成                                    |
| 「Hondaの燃料電池自動車開発と水素社会に向けて」<br>本田技術研究所燃料電池センター上席研究員 守谷隆史           | 「Nissan Intelligent Mobilityが目指すクルマ、人、社会の新しい関係」<br>日産自動車株式会社総合研究所長 土井三浩      |
| 「中国燃料電池自動車の最新進展と発展傾向」<br>中国汽車工程学会副秘書長 侯福深                         | 総括発言<br>日本側: 経済産業省製造産業局自動車課企画官(自動車商政策担当) 西野聡<br>中国側: 国家発展改革委員会産業協調司機械裝備処長 呉衛 |
| 「持続可能な自動車社会の発展のための次世代自動車開発」<br>トヨタ自動車研究センター(中国)有限公司TMEC北京総経理 湯田修事 |  |

## ◆ 日中長期貿易分科会 中日长期贸易分论坛

日本側・日中長期貿易協議委員会 省エネ等技術交流促進部会と中国側・中日長期貿易協議委員会・省エネ環境保護技術合作分會(事務局は商務部対外貿易司)は、省エネ・環境ビジネスの拡大・促進の為に対話の場として、第1回日中省エネルギー・環境総合フォーラム(2006年)以来、同フォーラムにおける分科会の形で毎回定期交流会を行っている。

前回の第10回に引き続き、今回第11回においても中国が直面する厳しい水需給事情や汚水処理に関する問題などを背景に、水循環において川上となる海水淡水化から川下である汚水・汚泥処理、無害化まで、水処理のスマート化・イノベーションを主題に交流を行った。

分科会終了後には藤沢市辻堂浄化センター、ウォータープラザ北九州、福岡市海の中道奈多海水淡水化センター(まみずピア)、和白水処理センターを視察した。

由日方的日中长期贸易协议委员会・节能技术交流促进部会与中方的中日长期贸易协议委员会・节能环保技术合作分會(秘书处设于商务部对外贸易司)共同推进的本分论坛，作为促进节能环保领域商务合作的平台，从第一届环保论坛(2006年)起，每年连续召开。

作为第10届的延续，本次第11届分论坛继续以中国目前面临的供水难与污水处理相关问题为背景，就水循环领域上游的海水淡化到下游事业的污水污泥处理和无害化等水处理的智能化与创新等主题进行了交流。

分论坛后组织中方视察了藤沢市辻堂浄化中心、WaterPlaza北九州、福岡市海之中道奈多海水淡水化中心(Mamizupia)和白水処理中心。

### 日中長期貿易分科会 アジェンダ

2017年12月24日(日) 13:30～17:00 於: ホテル椿山荘東京 タワー6F さくら  
主題: 水循環向上のためのイノベーション(海水淡水化、汚水・汚泥処理)  
議長: 杉田定大 日中長期貿易協議委員会事務局長(日中経済協会専務理事)

| 内 容   |  |
|---|--|
| 開会のご挨拶<br>日本側: 日中長期貿易協議委員会省エネ等技術交流促進部会 部会長 村山均(電源開発株式会社代表取締役副社長)<br>中国側: 日中長期貿易協議委員会 環保技術合作分會会長代理 宋先茂(商務部対外貿易司 商務参事官) | ボアロン®PPTFE中空糸膜を用いた水処理について<br>住友電気工業株式会社 水処理事業開発部 営業部長 井田清志                     |
| 質の高い水インフラ提供のために<br>経済産業省 製造産業局国際プラント・インフラシステム水ビジネス推進室 企画調整官 井上宏一  | 中国の都市と農村における汚水排出処理場の改善 近況と展望<br>北控水務(中国)投資有限公司 顧問 顧工師 技術委員会主任(元北京市政设计院総工師) 杭世耀 |
| 中国における海水を利用した産業及び政策<br>国家発展改革委員会 資源節約・環境保護司 節水処 処長 牛波   | 排水を水資源に~セラミック平膜を用いた水処理システム<br>伊電(上海)企業管理有限公司 水・環境営業部技術課 課長 鄧恒偉                 |
| 海水淡水化装置技術と海外水ビジネスの展開<br>協和機械工業株式会社 東京支店 営業本部 技術営業 担当部門 長 東部雅典   | 環境保護PPPの好機と展望<br>E2O研究院 執行院長 薛涛  |
| 中国における蒸留海水淡水化技術の発展及び活用について<br>国家海洋局天津海水淡化研究所 技術開発処 処長 初喜華   | 一級A水質達成のための高度下水処理技術<br>日立造船株式会社 グローバル事業統括部 顧問 林野                               |
| 東レグループの水処理事業及び中国での取り組み<br>東レ株式会社 メンブレン事業第2部 グローバル営業統括部長 吉田俊明  | 合作を通じたグリーンな未来の共創~中持水務と日本との合作状況と会社紹介<br>中持水務株式会社 総経理 鄧凱                         |
| 青島董家口における10万トン海水淡水化事例の紹介<br>北京碧水源膜科技有限公司 総工師 夏建中  | 質疑応答   |
| 休憩  | 総括発言<br>日中長期貿易協議委員会 環保技術合作分會会長代理 宋先茂(商務部対外貿易司 商務参事官)                           |

## ■ シーズ情報発信(技術一覧及び企業パネル展示)

本フォーラムでは、日本企業の省エネ・環境技術設備をPRする技術一覧を配布するとともに、特設展示コーナーを設け、日本企業8社、中国企業が4社、自社の技術・ソリューションの概要や中国での実績例をパネルで紹介しました。

### 【パネル展示・出展企業一覧】

- 日揮ユニバーサル株式会社  
貴金属触媒  
日揮Universal株式会社  
貴金属触媒
- 株式会社エムダイヤ  
エコセパレ分離・破砕機  
株式会社M-DIA  
固体廃物分離・粉砕機
- 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)  
横河電機(株)、日本総合研究所、東京電力ホールディングス(株)  
設備・運用、生産プロセスの改善  
国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)  
横河電機株式会社、日本総合研究所、東京電力控股集団株式会社  
設備運用と生産過程改善
- 株式会社堀場アドバンスドテクノ  
イオン選択電極式アンモニウム態素計  
堀場高新技术株式会社  
离子选择性电极式氨氮分析仪
- 日立造船株式会社  
水処理技術「DTA」「まりも」  
日立造船株式会社  
水処理技術「DTA」「MARIMO」
- 株式会社明電舎  
セラミック平膜ユニット  
株式会社明電舎  
陶瓷平膜薄膜水処理装置

- JFEEngineering Co.,Ltd  
リサイクル事業、瀋陽でのレストラン厨芥処理PJの実績  
JFEエンジニアリング  
回收事业、在沈阳市开展的饮食业垃圾处理的实绩
- 株式会社フロンティア・トレード・サービス  
「SEVERUS」エンジンオイル  
FrontierTradeServicecorp.  
「SEVERUS」机油
- 中国国家省エネルギー中心  
省エネルギーの政策、法規等研究機関  
中国国家节能中心  
节能政策、法规等研究机关
- 中国質量認証中心  
中国最大の認証機構  
中国质量认证中心  
中国最大的认证机构
- 福建永恒能源中心  
高效率パワーボイラー省エネ・環境保護一体化システム  
福建永恒能源中心  
高效率电站锅炉的节能环保一体化系统
- 中国質量認証中心  
食品レベルの再生ポリエステルチップ  
中国质量认证中心  
食品工业用可再生聚酯切片

### 【日本企業の省エネルギー・環境関連設備・技術一覧】



スマートフォンからのアクセスは←から!

## ■ 第11回フォーラムで文書交換された日中協力プロジェクト (23件)

### 日本国新エネルギー・産業技術総合開発機構と中華人民共和国国家発展改革委員会との間の省エネルギー・環境分野における実務的な協力の深化に係る覚書

中華人民共和国国家発展改革委員会と日本国新エネルギー産業技術総合開発機構が、省エネルギー・環境分野における実務的な協力の深化を目的として、以下の覚書を締結した。

日本側：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構  
中国側：国家発展改革委員会

### 広東省における電力需給調整アプリケーションに適用可能なエネルギーマネジメントシステム実証事業 (中国)

广东省電力供給調整適用エネルギー管理システム実証項目

日本側：横河電機株式会社、株式会社日本総合研究所、東京電力ホールディングス株式会社  
中国側：南方電網総合エネルギー有限公司、互太(番禺)紡績印染有限公司、広東華昌鋁業有限公司

### 日本国省エネルギーセンター及び中国国国家省エネルギーセンター間の協力覚書の有効期間延長に関する合意書

中国国国家省エネルギーセンターと日本国省エネルギーセンターが、協力の継続を目的として、以下の合意書を締結した。

日本側：一般財団法人省エネルギーセンター  
中国側：中国国国家省エネルギーセンター

### 材料分野に関する共同研究契約の締結

关于开展降低金属模具材料损耗共同研究的合作协议

日本側：日立(中国)研究開発有限公司  
中国側：上海交通大学

### 材料分野に関する共同研究契約の締結

关于开展降低金属模具材料损耗共同研究的合作协议

日本側：日立(中国)研究開発有限公司  
中国側：上海交通大学

### 日中経済協会と中国循環経済協会の戦略的協力枠組協定

中国循環経済協会と一般財団法人日中経済協会の战略合作框架协议

日本側：一般財団法人日中経済協会  
中国側：中国循環経済協会

### 瀋陽市における循環経済モデル都市構築に向けた廃棄物処理事業の検討に関する意向書締結

关于在沈阳市开展为建设循环经济示范都市的危险废物处置与资源综合利用项目的合作协议

日本側：川崎市、JFEエンジニアリング株式会社  
中国側：瀋陽市発展改革委員会、遼寧牧昌国際環保産業股份有限公司

### 瀋陽市における循環経済モデル都市構築に向けた廃棄物処理事業の検討に関する意向書締結

关于在沈阳市开展为建设循环经济示范都市的危险废物处置与资源综合利用项目的合作协议

日本側：川崎市、JFEエンジニアリング株式会社  
中国側：瀋陽市発展改革委員会、遼寧牧昌国際環保産業股份有限公司

### 米中カドミウム濃度測定装置の共同開発

关于共同开发大米镉浓度快速检测仪的合作协议

日本側：株式会社堀場製作所  
中国側：清華大学天津電子信息研究院

### 瑞穂銀行(中国)と博天環境集団による戦略提携に関する覚書

中国博天環境集団股份有限公司と日本瑞穂銀行(中国)有限公司战略合作备忘录

日本側：瑞穂銀行(中国)有限公司  
中国側：博天環境集団股份有限公司

### 環境・省エネ分野における戦略提携に関する覚書

環境省エネルギー分野の战略合作备忘录

日本側：一般財団法人日中経済協会  
中国側：全聯環境服務業商会

### 中国省エネ排出削減の投融资分野に於ける戦略的フレームワーク協議書締結

中国省エネ排出削減の投融资分野の战略合作框架协议

日本側：三井住友融資租賃(中国)有限公司  
中国側：中国省エネ協会省エネ服務産業委員会

### 燃料添加剤「OILTAC」の中国における販売のための技術提供

关于植物酵素燃料添加剤「OILTAC」的技术提供合作协议

日本側：アルプステック株式会社  
中国側：熙瑪(北京)科技有限公司

### 省エネ高効率立巻線鉄芯変圧器及び箱式変電所の開発

关于绿色高效节能立巻線鉄芯変圧器及箱式変電所の购置协议

日本側：株式会社パワーマックス  
中国側：海鴻電気有限公司

### 日中モデル事業FSの実施に関する基本合意書

关于中兴东平燃煤发电示范项目的合作意向书

日本側：一般財団法人石炭エネルギーセンター、三菱日立パワーシステムズ株式会社、株式会社堀場製作所  
中国側：中国電力企業聯合会、中興電力股份有限公司

### 中国東北地域における下水処理場余剰汚泥削減、省エネ技術、及び廃棄物有機物分解リサイクル技術の共同研究開発

关于共同研究开发中国东北地区污水处理场余剰汚泥減量节能技术及废弃有机物分解回收处理技术的合作意向书

日本側：WEF技術開発株式会社  
中国側：龍江環保集团股份有限公司

### 秋田バイオマス発電プロジェクト

关于共同开发日本秋田县70兆瓦生物质油清浄能源及5兆瓦余热回收联合发电项目

日本側：株式会社イースタジアグループ、BIO-PP秋田合同会社  
中国側：中国建材国際工程集団有限公司

### LED植物照明分野に関する協定備忘録

关于LED植物照明領域合作的谅解备忘录

日本側：特定非営利活動法人植物工場研究会  
中国側：国家半導体照明工程研究及産業連盟

### 日中地域経済貿易交流・協力深化についての覚書

关于深化中日地方经贸合作的谅解备忘录

日本側：一般財団法人日中経済協会  
中国側：青島市人民政府

### 中国石炭火力発電所の環境対策に関する協議書

中国燃煤火力发电厂环保治理合作协议

日本側：一般財団法人石炭エネルギーセンター  
中国側：中国電力企業聯合会

### 北九州環境ビジネス推進会と大連市環境保護産業協会の覚書に基づく新たなビジネスの創出

关于污染土壤治理的合作备忘录

日本側：北九州環境ビジネス推進会  
中国側：大連市環境保護産業協会

### 日中経済協会と天津経済技術開発区管理委員会による「日中環境技術交流・移転プラットフォーム」設立に関する覚書

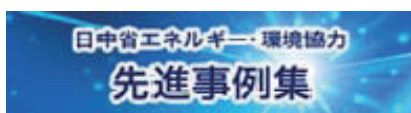
中国天津经济技术开发区与一般財団法人日中経済協会关于建立中日环保技术交流与转移平台的意向书

日本側：一般財団法人日中経済協会  
中国側：天津経済技術開発区管理委員会

### 発電所の運転・運用効率を改善するソリューションに関する事業の共同推進覚書締結

关于共同推进改善发电厂运行运营效率的相关解决方案事业的合作备忘录

日本側：株式会社日立製作所、日立(中国)有限公司  
中国側：四川東方電気自動控制工程有限公司



第1～11回フォーラムにおいて合意された日中協力プロジェクト(336件)は、日中経済協会ウェブサイトにて閲覧可能です。

<http://www.jc-web.or.jp/>